



2018年
平成30年1月号

編集・発行
 (一財) 徳島県婦人団体連合会
 〒770-8648 徳島市富田浜一丁目16番地
 徳島銀行 西別館 2階
 TEL088-622-9639 FAX 088-622-9667
 e-mail:fujinkai-tokushima@sepia.plala.or.jp

新年のごあいさつ

一般財団法人徳島県婦人団体連合会
 会長 藤田 育美



新年あけましておめでとうございます。

昨年、一大イベントである「高齢社会をよくする女性の会全国大会 in とくしま」が開催されました。大盛況の下、終えることができました。これもひとえに大会準備サポートをしてくださった会員皆様のお蔭です。皆様、本当にありがとうございました。

さて、今年のテーマは例年に引き続き、「健康第一、ハートにタッチ、ドリームキャッチ」と決めました。今は、これ以上のテーマは無いと感じております。

そして、本年は、婦人会活動の三本柱である結核予防婦人会の活動に重点を置き、複十字シール募金活動に力を入れると同時に、最近話題となっているCOPD(慢性閉塞性肺疾患)いわゆるタバコ病について啓発活動を行うため、そして受動喫煙防止法の制定に向けて、禁煙運動に力を入れて参りたいと思います。

結びとなりますが、本年も健康を第一に考え、日々感動し、夢をつかめるよう、婦人会活動を共に頑張って参りましょう。

平成29年度 第7回婦人会交流カローリング大会&特産品販売・バザー

日時：平成29年12月3日(日)
 場所：鳴門大塚スポーツパーク
 参加者人数：74チーム(330名)

第7回徳島県婦人団体連合会交流カローリング大会

鳴門市婦人連合会 会長 矢野壽美子

毎年2月に開催されているカローリング大会ですが、本年は12月3日(日)に大塚スポーツパークに於いて行われました。

毎年ファミスポカーニバルが開催されていて、ドッジボールや体力測定、カローリング等があり、婦人も一緒に参加しました。最初はかわいい子どものチアガールが登場し開幕を飾ってくれました。カローリングでは婦人会やその他74チームが参加し熱戦が繰り広げられました。体験コーナーでは家族連れの方等も沢山参加してくれました。ゾーンの中に入らぬように入らないことの難しさに一喜一憂していました。また吉本の芸人、月亭八光さんや麒麟の田村さんも体験され、会場の雰囲気盛り上がりました。産直市やバザーもあり、子どもから高齢者まで参加し楽しいスポーツ大会でした。



Aブロック			
ランキング	チーム名	所属	点数
優勝	穴吹 D	美馬市	31.10
準優勝	つるぎ A	つるぎ町	31.09
第3位	つばき	吉野川市	25.07

Bブロック			
ランキング	チーム名	所属	点数
優勝	岩倉 A	美馬市	25.02
準優勝	穴吹 A	美馬市	23.03
第3位	うずしお	鳴門市	21.00



新春スペシャル対談

(一財)徳島県婦人団体連合会 相談役
一般社団法人徳島県医師会

会長 齋藤 義郎



一般財団法人徳島県婦人団体連合会
会長 藤田 育美



藤田育美（以下 F）本日はお忙しい中、お時間を頂きありがとうございます。前理事長の時から相談役を引き受けて頂き、医師会と繋がりができるということは本当に嬉しいことです。引き続きよろしくお願い致します。

齋藤義郎（以下 S）こちらこそお願いします。

F：早速ですが、県婦連について簡単に紹介をいたします。県婦連は昭和23年に始まりました。前身は国防婦人会です。昭和34年には8万人いた婦人会員も現在では2万人を切っています。婦人会は3つの三本柱「婦人会」「結核予防婦人会」「日赤奉仕団」で活動しています。徳島県医師会の事業内容など教えて頂けますか？

S：県医師会の前身は明治41年まで遡りますが、現在の形となったのは昭和22年です。今年で70周年を迎えました。医療というのは、まちづくりや人づくりの核となるものの1つであると考えています。医療が無いと人が住めないし、町はできないということで、いつでも・どこでも・だれでもが平等な医療を受けられるよう努力をしています。

F：素晴らしいですね。

S：事業については、救急医療や災害医療、糖尿病対策など、いわゆる「政策医療」について県と連携をしながら取り組んでいます。また、男女共同参画にも力を入れており、医師会内に男女共同参画委員会や保育委員会を設けて女性医師の活躍をサポートしています。平成27年にはこの取り組みが評価され、県知事賞をいただきました。

F：救急医療や災害医療とありますが、日赤と連携して活動しているのでしょうか？



S：日赤は、独自で救命や防災活動をしています。医師会は、県と連携して災害派遣医療チームを作り、災害時に対応しています。

F：連携をすることは大変意義がありますね。

S：そうですね。私は学校保健にも力をいれています。子どもは国の宝ですので、きちんと育成していかなければならないと思います。子どもが健やかに成長していくように運動や健診をすすめていきたいので、学校の先生方や教育委員会などと連携してやっていければと考えています。



F：県婦連では毎年、テーマを決めて調査問題研究発表をしているのですが、医師会でこういった内容を調査してもらいたいというものはございませんか。ご提案をいただけましたら、調査をし、お互いに情報を利用していくという形で連携ができるように思います。

S：調査をお願いできるというのであれば、現在国が地域包括ケアということで、在宅医療を進めています。実際問題として、老老介護、認認介護、一人暮らしの中でどのような在宅医療が可能なのか、どのような在宅医療を県民の皆さんは希望されているのか、そういうところを調べてほしいですね。

F：地域全体で支えていくというシステムがないと難しいですね。どの様に地域が支えていくのかを考えていく必要があります。

S：地域で支え合って生きていくことは、本当に大事です。医療もそういうところに入っていけるような体制ができればいいと考えます。

F：県医師会の活動の中で、県婦連でお手伝いできることがあれば教えてください。

S：結核予防や献血活動、地域の人と人とを結ぶネットワークづくり等、県婦連の取り組みに改めて敬意を表します。誰もが安心して暮らせる社会づくりの担い手として活動されている地域の婦人会の役割はますます重要となっています。これからも医師会の取り組みにお力をいただきたいと考えているので、よろしくお願い致します。

F：今日は本当にありがとうございました。

S：こちらこそありがとうございました。

第65回 全国地域婦人団体研究大会 IN 島根県

開催日：2017年10月26日（木）・27日（金）
会場：島根県民会館

10月26・27日と島根県島根県民会館にて、第65回全国地域婦人団体研究大会が開催されました。「温故知新 歴史に学び 今を見つめて 文化のまつり ～一人ひとりが学んで気づき 行動を変え 実践できる社会づくり～」をテーマに約2300人の会員が集いました。

1日目は5つの分科会とフィールドワーク（歴史探訪）、2日目は中村ブレイス（株）代表取締役 中村俊郎氏による「空想の翼で駆けて ～義肢装具作りの半世紀～」と題して、記念講演がありました。

【1日目】

第1分科会【環境問題】 『楽しみながらできる省エネ「足し算の省エネ」』
講師：島根県環境政策課 課長 小池 誠 氏

寸劇・実践発表：島根県環境政策課・島根県連合婦人会

第2分科会【女性の活躍】 『食卓には地球を変える力がある』
～婦人会だからできるんです～
講師：出雲地域婦人会会長 正食料理研究家 浅津 知子 氏

第3分科会【人づくり】 『婦人会 どうする次期会長』
講師：島根県教育庁社会教育課 教育魅力化特命官 岩本 悠 氏

第4分科会【領土問題】 『竹島問題を学ぶ』
講師：島根県総務部総務課竹島対策室 室長 南山 尚理 氏
講師：島根県教育庁 教育指導課 指導主事 植田 道 氏
紙芝居：杉原 由美子 氏

第5分科会【地域防災】 『地域防災における女性の役割』～主婦は防災のキーパーソン！～
講師：林防災危機管理事務所 防災・危機管理アドバイザー 林 繁幸 氏

◇フィールドワーク◇ 【歴史探訪】 『松江二大国王と出雲の国のルーツ』 市内史跡めぐり

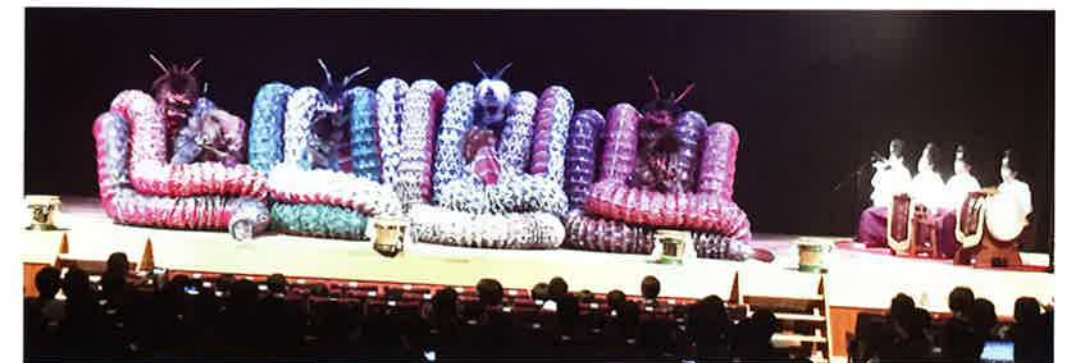
【2日目】

記念講演 『空想の翼で駆けて』～義肢装具作りの半世紀～ 中村ブレイス株式会社 代表取締役 中村 俊郎 氏

第65回全国地域婦人団体研究大会に参加して

石井町女性の会 澁田 幸子

今年度は、10月26日・27日に島根県で開催されました。出雲大社や宍道湖など観光目的で行ったことは何回かありましたが、大会に参加するのも県民会館に行くのも初めてだったので、興味がありました。正直なところ、これまで島根県は徳島県と同じ少人口の県という意識しかなかったのですが、ゴミが落ちていないきれいな街並みや立派な県民会館を目の当たりにして驚かされました。また、アトラクションの石見銀山神楽「大蛇（おろち）」は、あまりの迫力に背筋がぞくぞくするほどでした。もちろん、徳島県にも良い所はありますが、県外に出る度に、いつも気付かされます。



我が町・村 自慢

す。夜9時を過ぎると、太鼓のドンドンという音と共に、御神輿は本殿への階段を上って行き、ヨイヤイショは各地区へ帰り、祭りは終わります。皆様も一度お越しください。

武家屋敷と蜂須賀桜

春がくると、閑静な住宅街にある生垣に囲まれた古い武家屋敷、原田邸に蜂須賀桜を見に人々が訪れます。徳島城の庭園から移された名木ですが、今は篤志家のお陰で徳島公園の川沿いや富田中央公園にも植えられ、人々の目を楽しませております。蜂須賀桜もさりながら原田家住宅（武家屋敷）は国登録有形文化財にされており、平日も庭で桜を見る事が出来ます。その静謐な佇まいは、藤沢周平の小説の世界に誘われる思いが致します。付近にはマンション等が建ち、昔の面影を残す所も少なくなってきましたが、江戸時代の武士の生活を偲びにぜひお訪ねください。



大元神社の秋祭り

鳴門市明神婦人会 会長 瀬戸 俊子

大元神社は、慶長年間藩主蜂須賀家政公の塩田開拓奨励により、元和9年、巖島神社境内大元神社分霊を奉戴し、当地方一帯の産土神として崇敬されています。御神輿は五穀豊穡と家内安全の御祈禱に来てくれます。殊に祭礼の時の神輿に巻いた布は安産のお守りといわれています。境内では美しい煌びやかな御神輿が威勢の良い掛け声で周り、その後もち投げがあります。



徳島市東富田婦人会 小澤 博子

地域交流拠点 一般財団法人さなごうち「新家」

村役場から神山方面へ約1km先の国道沿いに、本年4月に佐那河内村地域交流拠点「新家」が生まれました。新家は広さ約200平方メートルの平屋建てでカフェがあり、その奥にはワーキングスペース。地域の住民やサテライトスペースの契約者らが自由に使えます。平日カフェでは、お昼のランチを食べる事も出来、味もおいしいです。（事前に予約が必要です）今はまだ設立されたばかりなので、きっとわが村の自慢になるでしょう。どなたでもお気軽にお立ち寄りください。



佐那河内村婦人会 会長 棟 としみ

人と自然と出会う町

徳島市川内婦人会 会長 広瀬 貞子

四国三郎で有名な吉野川と今切川の間にある川内町。町内には国の重要無形民俗文化財「阿波人形淨瑠璃」で有名な阿波十郎兵衛屋敷や、夏には海水浴場として賑わう小松海岸、大正から昭和の時代に川内村で使用されていた農具・民具が展示されている民俗資料館などがあります。農業も盛んで、レンコンは「蓮ごころ」・サツマイモは「甘姫」・カリフラワーは「花てまり」と、ブランド名をつけて出荷しています。このように受け継がれてきたものを大切に、人と人をつなげている我が町です。



幸せの花咲くひょうたん島

北島町は、徳島県東部の吉野川下流に形成された三角州に位置し形が「ひょうたん」に似ています。交通の便が良く、企業が多いため近隣市町のベッドタウンとして人口が増加し都市化が進んでいます。そのため、住民同士のふれあいや心の連携が生まれることを目指し各種のイベントが開かれています。4月の「チューリップフェア」では婦人会・各種ボランティアグループ等が植え付けた様々なチューリップが色とりどりに咲き、県内外からの来場者で賑わいます。8月の「ひょうたん島夏祭り」10月の「町民運動会」「文化祭」「菊花展」11月には「芸能大会」等を開催しています。高房地域には、水辺交流プラザがあり、ボートによる周遊等本格的なレジャーなどを楽しむことができます。県外から多くの愛好者が訪れ、全国的にも注目が集まっています。安全で明るく、住みよい幸せの花咲く北島町です。



北島町婦人会 会長 菊川 政子

交通の要「江原南地区」

私の住んでいる江原南は、脇町インターチェンジの出入口で、その突きあたりが曾江谷川です。左へ行くと香川県に抜けるまっすぐな国道です。その途中に江原中学があり、春になると、国道、中学校へ入る桜並木がとてもきれいです。右へ行くと、大型ショッピングセンターや、量販店等がたち並び商業地として栄えています。地域全体としては、平地が広がり、自然もたくさん残っているので、最近、新しい家を建てる人が多います。香川、徳島の間で、どこへ出かけるにも便利です。



美馬市江原南地区婦人会 会長 阿部 嘉子

絶対に見捨てない。

平成医療福祉グループ
HEISEI MEDICAL WELFARE GROUP

医療法人 平成博愛会
博愛記念病院 | 088-669-2166
徳島県徳島市勝占町惣田9 www.hakuai-hp.jp

徳島県内病院・施設

江藤病院 / 平成アメニティ / 明和苑 / ケアホーム鷺敷
ヴィラ勝占 / ヴィラ羽ノ浦 / ケアハウスエルベ
グループホーム勝占 / グループホーム渭北 / グループホーム八万 / グループホーム鳴門
平成デイサービスセンター羽ノ浦 / 鷺敷デイサービスセンター
八万小規模多機能センター / メディケアハウス平成

地域活動

地域ぐるみの取り組み

徳島市渭北婦人会 会長 岩田 美智子

子育て支援の一環として、毎年幼稚園へ花苗を贈り（春はゴーヤ・秋はパンジー等）楽しんでもらっています。「たくさん実って嬉しかった」とのご報告を頂いています。また、わくわくクラブでは、幼稚園や小学校の子ども達と一緒にお菓子作りや流しそうめんを楽しみ、大型絵本の読み聞かせ等を行っています。流しそうめんは地域の方が竹取りから節抜き、乾燥、台の組み立てとお世話をしてくれます。子ども達にも人気があり、毎年大勢の子ども達が参加してくれます。

小学校での昔遊びや児童の見守りパトロールも地域の皆さんと共に取り組み、婦人会も少しでもお役に立てればと日々活動しています。



北泊地区の活動

鳴門市北泊婦人会 会長 森 キヨ子

瀬戸地区の最北部にある北泊地区は、狭い道路沿いに住宅が密集しています。地区には商業施設が全く無く、日常の買い物は中心市街地に依存しています。老年人口が30%を超えた典型的な少子高齢化が進んでいる地域での婦人会活動は、なかなか困難な部分が多くあります。そんな中で今回、自治会や老人会、そして漁協組合、消防本部の協力を得て、災害にあった時の応急手当、AEDの使い方の講習会を開催しました。その後、災害用移動炊飯器を使った炊き出し訓練と試食会を行い、約60人の皆さんに参加していただきました。また瀬戸地区全体で行う瀬戸コミュニティと鳴門市開催の鳴門まつりへの参加等、活動を進めていきたいと思っています。



藍・愛コーナー

海陽町婦人会 会長 福井 千賀子

保育所での教え子、永原レキさんが海陽町穴喰で藍染体験兼カフェ（イン・ビトウィーン・ブルース）を運営しています。穴喰生まれの永原さんは、サーファーでもあり、藍染めを施したサーフボードで（下の写真）で、レクサスが選ぶ「注目の匠」の1人に選ばれました。藍染めを通して海陽町の魅力を発信していこうというのが、彼の願いです。藍染めのサーフボードだけでなく、衣類・エコチェア・マスク・和三盆など、彼の藍染作品はどんどん広がっています。永原さんの合言葉は「衣・食・住・遊に藍染めを」です。店名のイン・ビトウィーン・ブルースも「ブルース（歌）とブルー（空と海の青）の間で」という意味だろうと、こちらで勝手に思っています。



永原レキさんを間に



海陽町文化祭に展示された町民の作品

★今が旬★ 【おいしいゆず味噌の作り方】

徳島市加茂婦人会

【材料】

ゆず 3kg (2.5kgでもよい) 味噌(赤) 3kg 砂糖(ザラメ) 3kg~2.5kg 酒少々 みりん少々

【作り方】

- ①ゆずは水洗いして乾かす。
- ②皮部の黒色を包丁でハギとる。
- ③横に輪切りし絞る。
- ④種を出す。
- ⑤ふくろを取り除く。
- ⑥袋と白いワタと共にミキサーにかける。
(ゆずの汁を少し入れる)(約1分弱)
- ⑦ゆずの皮を大なべに湯を沸騰させた中へサッと入れる。
- ⑧フード・プロセッサーでひとまわしする。
(ない時は包丁でみじん切りにする)
- ⑨(みじん切りのゆず、絞った汁)
(ミキサーにかけた袋、砂糖、味噌)
上記を一緒にして大鍋で焦がさないように煮詰めていく。
(中火又はトロ火)
・木杓子でこがさないようにまぜてゆく。
・後半で酒、みりんを加える。
・約1時間~1.5時間煮詰める。
・出来上がり!



【ワンポイント】

とりだしたゆずの種を焼酎につけたものを、足の力カトなどに塗るとすべすべします。お試しを! ゆずは全部活用が出来て捨てる所がありません!

社会医療法人 川島会

川島病院

理事長 / 川島 周 院長 / 水口 潤

〒770-0011
徳島県徳島市北佐古一番町1-39
電話: 088-631-0110 FAX: 088-631-5500

〈診療科目〉

- 内科 ●腎臓内科(人工透析・腎移植) ●泌尿器科
- 循環器内科 ●循環器外科 ●糖尿病内科
- 消化器内科 ●呼吸器内科 ●放射線科 ●皮膚科
- 血管外科 ●脳神経外科 ●リハビリテーション科
- 歯科 ●歯科口腔外科

内科・人工透析内科

川島透析クリニック

院長 / 岡田 一義
〒770-0011
徳島県徳島市
北佐古一番町6番1号
電話: 088-634-0200
FAX: 088-612-8321

内科・人工透析内科・糖尿病内科

脇町川島クリニック

院長 / 深田 義夫
〒779-3602
徳島県美馬市脇町
大字猪尻字連社下南39-2
電話: 0883-55-0110
FAX: 0883-55-0130

内科・人工透析内科

鴨島川島クリニック

院長 / 川原 和彦
〒776-0033
徳島県吉野川市鴨島町
飯尾字福井396-3
電話: 0883-24-8551
FAX: 0883-22-1355

内科・人工透析内科

阿南川島クリニック

院長 / 宮本 弘
〒779-1106
徳島県阿南市
羽ノ浦町岩脇神代地80-1
電話: 0884-44-6556
FAX: 0884-44-6550

内科・人工透析内科

鳴門川島クリニック

院長 / 横田 成司
〒772-0043
徳島県鳴門市大津町
段関字西68-5
電話: 088-683-0810
FAX: 088-683-0818



優しい Kind
誠実な Honest
伸びゆく Growing



『あなたの夢をかたちに ともに未来へ』



徳島銀行

TOMONY HOLDINGS